

農林水産商工常任委員会資料

(令和8年5月21日)

項 目	ページ
■ 鳥取県経済団とタイ経済界とのビジネス交流について 【通商物流課、販路拡大・輸出促進課】……………	2
■ 鳥取県グローバルビジネスサポートデスクの設置について 【通商物流課】……………	4
■ 県立ハローワークにおける利用実績状況等について 【鳥取県立ハローワーク】……………	5

商 工 労 働 部

鳥取県経済団とタイ経済界とのビジネス交流について

令和8年5月21日
通商物流課／販路拡大・輸出促進課

4月26日、27日に平井知事と県内事業者で構成する鳥取県経済団が、県内企業のプロモーションやビジネスマッチング、本県の魅力や県産食材のPR等を行うため、タイ・バンコクにおいてタイ商工会議所訪問やビジネス交流会等へ参加するとともに、観光・食のPRイベント「食パラダイス鳥取ナイト」を実施しました。

1 タイ経済界有志企業とのビジネス交流会

- (1) 日 時 4月26日(日) 19時～21時
- (2) 場 所 ザ・フード・スクール・バンコク
- (3) 出席者 【タイ側】
タイ商工会議所 理事：プリム・ジッジャルンポン（ザ・フード・スクール・バンコク共同創設者）ほか
【鳥取県側】
鳥取県知事：平井 伸治
山陰合同銀行 代表取締役専務執行役員：吉岡 佐和子 ほか
- (4) 内 容
 - ・「食材の可能性を広げる」をコンセプトに、会場であるフードスクールのシェフが鳥取県食材を使い、「鳥取和牛とアーティチョークのソテー（イタリアン）」「ノドグロと新鮮ワカメのタイ風ソース仕立て（タイ料理）」などのイタリアン、タイ料理、和食の3種類の料理を提供。鳥取和牛や梨などの魅力ある食材をPRした。
 - ・本交流会には、タイのホテルやレストラン、自動車、ヘルスケア、中小企業コンサルタント、金融等幅広い分野の著名な経営者が出席。これを機に新たな商談が始まったほか、引き続きタイでの販路拡大や事業連携に向け、双方がコンタクトを取っていくことを確認した。

2 ティラウッド・クーハブレマ バンコク病院ワタノソットがん病院長との面談

- (1) 日 時 4月27日(月) 9時10分～9時50分
- (2) 場 所 SIAM PATUMWAN HOUSE（サイアム・パトゥムワン・ハウス）
- (3) 出席者 【タイ側】
バンコク病院ワタノソットがん病院 病院長：ティラウッド・クーハブレマ
【鳥取県側】
鳥取県知事：平井 伸治
株式会社R0 代表取締役：藤井 政至
社会福祉法人こうほうえん 会長：廣江 研 ほか
- (4) 内 容
 - ・東南アジア最大のヘルスケアグループであるBDMS(バンコク・デュシット・メディカル・サービス)のバンコク病院ワタノソットがん病院ティラウッド病院長に対し、(株)R0の藤井代表が、自社の次世代医療シミュレータについてプレゼンテーションを行った。ティラウッド病院長からは、タイにおける医療の更なる質向上、がんの早期発見・早期治療に繋げていくために重要なシミュレータであるとの評価をいただき、BDMSグループ内での普及に向けてワークショップの開催等を協議していききたいとの意向が示された。

3 大鷹 正人(おおたか まさと) 駐タイ王国日本国特命全権大使との意見交換

- (1) 日 時 4月27日(月) 11時30分～13時
- (2) 場 所 在タイ日本国大使館大使公邸
- (3) 出席者 駐タイ日本国特命全権大使：大鷹 正人、鳥取県知事：平井 伸治
- (4) 内 容
 - ・平井知事が、タイとの間でビジネス交流を更に発展させていけるよう本県の活動をサポートしていただきたい旨を述べたところ、大鷹大使から、本県がタイ経済界のキーパーソンと強固なコネクションを構築していることを高く評価している旨を述べられ、今後、日本大使館としてもサポートする意向を示された。

4 タイ商工会議所との意見交換 (※タイ国内各商工会議所の中央団体)

- (1) 日 時 4月27日(月) 15時～16時
- (2) 場 所 タイ商工会議所
- (3) 出席者 【タイ商工会議所】
副会頭：サロージ・チャヤウィワットクン(Thai Beverage Can Limited 代表取締役社長 ※東南アジアを代表するアルミ缶メーカー)
名誉会頭：イサラ・ウォンクソキット(ミトポングループ名誉会長 ※アジア最大の製糖会社) ほか14名
【鳥取県側】
鳥取県知事：平井 伸治
鳥取県経済団 9名
- (4) 内 容
 - ・冒頭、サロージ副会頭が、昨年5月に鳥取県を訪問したイサラ名誉会頭やプリム理事から鳥取県が魅力的な地域であると聞いていることを紹介。今回の意見交換がスタートとなり、両者の幅広い分野でのビジネス交流が更に促進されることへの期待を述べられた。
 - ・タイ商工会議所からは、食品・観光・ウェルネス等の分野での戦略的協力について提案があり、双方がこれらの実現に向けて連携協力していくことで合意した。
 - ・また、今後、鳥取県の魅力をタイ国内で広く普及していくため、タイビジネスリーダーや著名人の鳥取県への来県、食・観光分野の企業等の派遣、タイでのビジネスイベント開催等について調整していくことで合意した。

5 「食パラダイス鳥取ナイト」でのトッププロモーション

- (1) 日時 4月27日(月) 17時15分～18時45分
- (2) 場所 JW マリオット・ホテル・バンコク内「Nami(波) Teppanyaki Steakhouse」
- (3) 出席者 駐タイ日本国特命全権大使：大鷹 正人 ほか、タイ関係者 38名

【鳥取県側】

鳥取県知事：平井 伸治
鳥取県経済団 9名 ほか

(4) 内容

- ・タイ商工会議所関係者や旅行社に対し、鳥取和牛やカニ、果物等の鳥取の食と観光の魅力をPRし、経済団の販路拡大及び観光誘客の促進を目的に、JW マリオット・ホテルの全面協力を得て、本イベントを実施した。
- ・平井知事は、食パラダイス鳥取県には鳥取和牛やカニ、王秋梨など素晴らしい食材があることを紹介し、タイでも人気の名探偵コナンのセリフも引用し、「コナンに会いに来て」と呼びかけた。
- ・参加者からは、「鳥取和牛はさっぱりとして食べやすい」、「長芋ねばりっこや牛骨ラーメンは初めて食べたがとても美味しかった」等の声があったほか、イベントを契機に、来県を検討しているという参加者の声もあった。

6 イサラ・ウォンクソキット タイ商工会議所名誉会頭ほかとの面談

- (1) 日時 4月27日(月) 19時～21時
- (2) 場所 Ma Maison
- (3) 出席者 【タイ側】

タイ商工会議所 前会頭 (名誉会頭)：イサラ・ウォンクソキット
タイ商工会議所 理事、フードスクール共同創設者：プリム・ジッジャルンポン ほか4名

【鳥取県側】

鳥取県知事：平井 伸治

(4) 内容

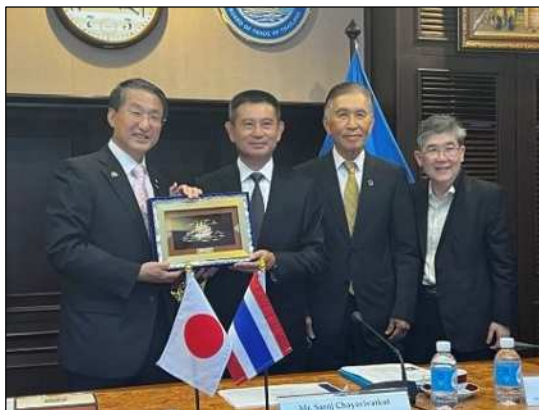
- ・タイ経済界のトップであるイサラ名誉会頭と平井知事が、昨年5月の来県以来の再会を果たし、一層の信頼関係構築を図った。



鳥取県食材を使ったイタリアン等料理



自社の技術や製品をプレゼンする(株)R0 藤井代表



平井知事とサロージ副会頭、イサラ名誉会頭、プリム理事



鳥取和牛や梨を使った料理を提供し、来場者が交流を深めた

鳥取県グローバルビジネスサポートデスクの設置について

令和8年5月21日
通商物流課

県では、県内企業の海外展開に関する現地におけるサポート体制を強化するため、既設置の東南アジアビューロー（東南アジア地域）に加え、在外邦人ネットワークを活用し海外在住の邦人ビジネスマン等を「海外よらずビジネスサポート駐在員」として配置し、県内貿易支援機関（JETRO 鳥取、とっとり国際ビジネスセンター等）とも連携し、県内企業の海外進出に係るあらゆる相談に対応する体制を構築しています。

このたび、重点エリアであるインド及び欧州におけるビジネス展開を支援するため、インド・ベンガルール及びオランダ・アムステルダム の2都市に現地拠点「鳥取県グローバルビジネスサポートデスク」を設置し、5月15日に開設しました。

1. 設置場所

(1) インドサポートデスク

〔所在地〕 10th Floor, Tablespace Suites, Vittal Mallya Road, Bangalore, India

※インド最大のIT・スタートアップ都市であるベンガルールに位置し、IT・製造・医療など幅広い産業施設へのアクセスが容易。

(2) 欧州サポートデスク

〔所在地〕 Keizersgracht 482, 1017 EG Amsterdam, The Netherlands

※欧州最大の国際ビジネスハブであるアムステルダムに位置し、EU各国へのアクセスが容易。

2. 実施企業概要

<YCP Holdings (Global) Limited>

(1) 所在地 シンガポール（本社）

(2) 代表者 石田 裕樹

(3) 資本金 44,900,000USドル（約70億円 ※1ドル=155円で計算）

(4) 業種 サービス業（アドバイザーサービス、ソリューションサービス、投資）

(5) 設立 2011年

(6) 従業員 703名（2025年12月31日現在）

(7) 沿革 2011年に日本で創業、2014年に香港を拠点とするホールディングス体制へ移行し、2021年にはシンガポールにグループ統括機能を担うYCP Holdings (Global) Limitedを設立、東京証券取引所グロース市場に上場。現在、東京・シンガポール・香港・インド・欧州・中東・米国など世界各国に拠点を展開している。

(8) 実績

- ・経済産業省：環境技術（水処理技術）企業のインド事業開発支援・ビジネスマッチング・商談アレンジ・研究開発施設設置・調査分析（インド）
- ・東京都：IT・半導体製造業関連企業の欧州進出支援、ビジネスマッチング・調査分析（オランダ・ドイツ）
- ・青森県：県産品の輸出・海外展開戦略構築・市場調査（インド） など

3. サポートデスクの業務

(1) 体制

インド・欧州ともに、YCPが拠点を置くベンガルール及びアムステルダムに日本人スタッフを各1名配置（常駐）。その他、現地スタッフが数名在籍。

【営業時間】 午前9時から午後5時まで（現地時間）

【現地窓口】（インド）[担当]永倉 英治 [メール] eiji.nagakura@ycp.com

（欧州）[担当]天野 淳 [メール] jun.amano@ycp.com

【日本窓口】03-6264-9590（YCP Japan 東京オフィス代表）※代表電話から海外担当者へ取り次ぐ

(2) 業務内容

インド及び欧州への海外展開を図る県内企業等に対する情報提供、鳥取県や県内企業の現地視察訪問支援、事業展開等に係る相談業務、現地情報の集積・分析、ビジネスネットワーク形成業務、インバウンド支援等



県立ハローワークにおける利用実績状況等について

令和 8 年 5 月 2 1 日

鳥取県立（鳥取・倉吉・米子・境港）ハローワーク

鳥取県では、地方版ハローワークである「鳥取県立ハローワーク」を県内4か所（鳥取、倉吉、米子、境港）及び県外2か所（東京、大阪）に設置し、県の産業施策、移住施策等と連携した求人・求職支援等を行っています。令和7年度の利用実績等について報告します。

1 職業相談・紹介

令和7年度の就職決定者数は2,189人（前年度2,210人）で、うち正規雇用は783人（前年度723人）と60人増であった。また、相談件数は51,811件（前年度49,815件）、新規求職者数は3,048人（前年度3,037人）で、ともに増加した。

近年の働き方の多様化などにより、新規求職者の約半数を占める在職者を中心に、求職者が自分に合った勤務条件・待遇を重視する傾向が強まっており、相談件数や正規雇用者数の増加につながったと考えられる。

(1) 年度別推移

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (対前年度比)
就職決定者数 (人)	2,446	2,479	2,270	2,210	2,189 (99.0%)
うち正規雇用 (人)	865	802	800	723	783 (108.3%)
相談件数 (件)	47,470	47,313	47,287	49,815	51,811 (104.0%)
新規求職者数 (人)	3,162	2,877	3,108	3,037	3,048 (100.4%)

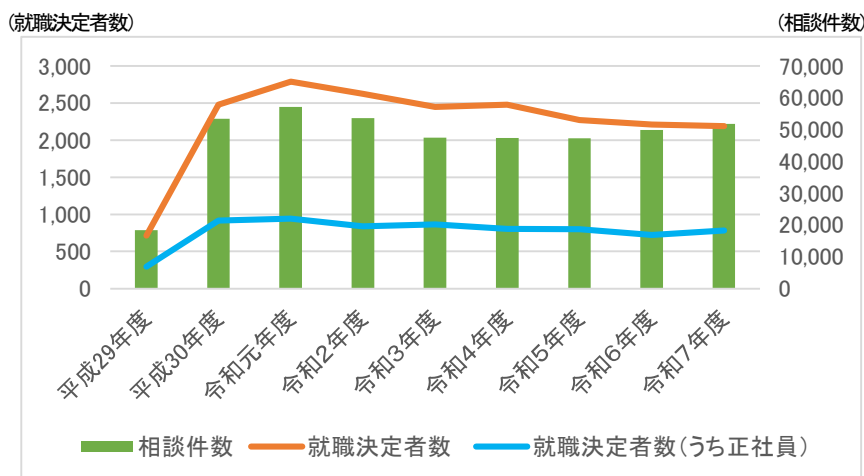
(2) 令和7年度地域別内訳

[下段()内: 令和6年度実績]

項目	鳥取HW	倉吉HW	米子HW	境港HW	関西HW	東京HW	計
就職決定者数 (人)	618 (651)	622 (622)	775 (762)	133 (132)	27 (24)	14 (19)	2,189 (2,210)
うち正規雇用 (人)	239 (207)	187 (198)	290 (266)	37 (28)	21 (10)	9 (14)	783 (723)
相談件数 (件)	15,921 (15,854)	9,018 (8,825)	20,814 (19,343)	4,373 (4,246)	742 (557)	943 (990)	51,811 (49,815)
新規求職者数 (人)	868 (901)	756 (804)	1,105 (1,025)	216 (210)	56 (49)	47 (48)	3,048 (3,037)

【県立ハローワークにおける就職支援実績の推移】

コロナ禍以降、就職決定者数は横ばい、相談件数は微増傾向となっている。



【開設時期】平成29年度：(7月開所) 米子、境港、東京、関西HW
 平成30年度：(4月開所) 倉吉HW
 (7月開所) 鳥取HW

2 潜在労働力の掘り起こしとキャリア形成支援（キャリアデザインLab（ラボ））

支援対象者（就職氷河期世代、シニア層、ニート等）に対して、キャリア形成支援（適性診断、適職診断等）、リスキング支援（職業訓練、パソコン講習等）を実施した。

また、市町村と連携して乳幼児の健診会場等での出張相談を実施したところ、家庭の事情で退職した再就職希望の50代女性や引きこもりの30代若者など、102人から相談があり、50人が就職決定するなど、アウトリーチ型の相談対応及び啓発を通じて、多様な人材の労働参加につながった。

〔R7年度のキャリアデザインラボ実施体制〕

- ・鳥取・倉吉・米子の各県立ハローワークにキャリアコンサルタント（国家資格）を配置
鳥取（毎週水・木・金）、倉吉（毎週火）、米子（毎週月・土）
- ・その他、市町村施設等への出張相談会にも対応

3 若年者の就業支援（地域若者サポートステーション）

一定期間無業の状態にある若年者を対象に総合相談（キャリア形成支援、心理カウンセリング）、職業意識啓発等を実施し、4,601件の相談に対応、124人の進路決定につながった。

このうち、臨床心理士による相談件数は、心理的配慮を必要とする方への相談の質を高めたことなどにより、597件となった。

〔R7年度の若者サポステ実施体制〕（国・県共同設置）

国が委託設置する窓口、県が臨床心理士等による心理カウンセリング、企業説明会の開催等の上乗せ実施。

設置場所	利用時間
とっとり若者サポートステーション （鳥取市扇町7鳥取フコク生命駅前ビル2階）	平日、毎週土曜 10:00～18:00
よなご若者サポートステーション （米子市末広町311イオン米子駅前店4階）	平日、第1・3土曜 10:00～18:00

4 都市部ビジネス人材の誘致（とっとり週1副社長プロジェクト）

経営課題を抱える県内企業を支援するため、高い専門性や豊富な経験を有する都市部ビジネス人材を副業・兼業人材として受け入れる「とっとり週1副社長プロジェクト」を展開した。

令和元年度からこれまで延べ18,000人以上の応募があり、累計971社1,494人のマッチングが成立し、マッチング成立人数（R7:315人）は7年連続で全国第1位となっている。

区分	取組	令和7年度実績
都市部ビジネス人材の獲得推進	鳥取県で週1副社長（通年）	・民間大手の副業マッチングプラットフォームに鳥取県の特設サイトを開設し、副業・兼業求人を募集した。（年4回） ⇒ 応募総数2,406人に対し、215社315人のマッチングが成立。 （本特設サイト以外のリピート契約等を含む）
	副業・兼業アクセラレータープログラム「とっとりメジャーリーグ」	・都市部大企業等のビジネス人材により編成された8チームが、週1副社長に挑戦するプログラム。経営課題を抱える県内企業8社とドラフト会議方式によりマッチングを行い、3ヶ月間の協業の後、成果発表会を開催した。（ドラフト会議：R7.8.8、成果発表会：R7.12.8） ⇒ 取り組んだテーマ：新規事業策定、新商品開発など
「週1副社長」受入企業促進	経営者向け講座の開催	・副業・兼業人材の受入により経営革新に取り組む企業を増やすため、MBA取得者による講座を年3回開催した。（R7.10.4、11.15、12.6） ⇒ 参加者：県内企業経営者 延べ57人
	中西部受入企業の開拓推進	・副業・兼業人材の活用を紹介する経営者向けセミナーを開催した。（米子市、R8.2.9） ⇒ 参加者：県内企業経営者 34人

・副業・兼業アクセラレータープログラム「とっとりメジャーリーグ」成果事例

株式会社ホテルセントパレス倉吉 × ユニアデックス（東京の情報通信系企業の有志3名による副業兼業チーム）

課題	人口減少下におけるホテル稼働率の減少を背景とした閑散期における施設利用の増
取組	介護福祉施設と連携し、施設入所者を対象に、例えば入所者の記念日にホテルに招待し、バイオリン音楽や季節料理を提供する等、入所者に非日常を体験していただける新たなサービスプランを策定。